

天草市本渡方言のアクセント : 動詞句のアクセント

著者	木部 暢子
雑誌名	国立国語研究所論集
号	2
ページ	49-76
発行年	2011-11
URL	http://doi.org/10.15084/00000481

天草市本渡方言のアクセント

——動詞句のアクセント——

木部 暢子

国立国語研究所 時空間変異研究系

要旨

西南部九州2型アクセントのうち、長崎アクセントと鹿児島アクセントについては、これまでの調査研究により、その詳細がかなり明らかになった。その結果、両者の共通点や相違点も次第に明確になってきた。本稿で取り上げる熊本県天草市の方言は、地理的にも言語的にも、長崎市と鹿児島市の中間に位置しており、西南部九州2型アクセントの成立過程を解明する上で、重要な位置を占めている。本稿では、天草市本渡方言のアクセントについて、以下のことについて報告する。(1) 天草市本渡方言のアクセント体系は2型アクセントで、A型は最初から数えて2拍目が高く、その後で下がる型、B型は高く始まり平らな型である。(2) アクセントの及ぶ範囲は、基本的には文節である。動詞句では、動詞+サスル(使役)、動詞+パッテン(逆接)などは、1つのアクセント句を形成するが、動詞+トル(結果)、動詞+キル(能力可能)などは、2つのアクセント句を形成する*。

キーワード：2型アクセント、助詞・助動詞のアクセント、アクセント句、長崎方言、鹿児島方言

1. はじめに

熊本県天草諸方言のアクセントに関する最初の報告は、平山(1951)である。ただし、詳しい説明はなく、添付のアクセント分布図に、天草の本渡が「曖昧音調其の二」であること、富岡、宮地、牛深が京阪式二型音調であることが示されているだけである(平山1951:第二図, 第五図)。これを受けて、上村(1972)は、天草各地の音調型の調査を行い、音調の実相について報告している。それによると、本渡方言は次のようになっている。

- 1 拍語 A, ●△……日・血・蚊・胃の類。ヘー, ヘーワの傾向
B, ○△……火・目・菜・田の類。ヒー, ヒーワの傾向
- 2 拍語 A, ●○～○●△……飴・鼻・牛・巻クの類
B, ○○～○○△……雨・花・肩・蒔クの類
- 3 拍語 A, ○●○～○●○△……女・力¹・赤カ・騒グの類
B, ○○○～○○○△……男・力²・白カ・余ルの類

* 本研究は、科学研究費補助金(基盤研究(B))「N型アクセントに関する総合的調査研究」(課題番号2230085, 平成22年度～24年度, 木部暢子代表)を受けて行った。また、本稿は、科研費公開シンポジウムでの発表、木部(2011)に加筆したものである。

¹「力」がAにもBにも記載されているが、原文のまま引用する。

²同上。B型の「力」は「刀」の誤植の可能性がある。

- 4 拍語 A, ○●○○～○●○○△……甘酒・危カ・忘ルルの類
 B, ○○○○～○○○○△……朝顔・少ナカ・覚ユル³類

上村 (1972) の調査では, 1～4 拍名詞, 名詞 + 1 拍助詞, 2～4 拍動詞の終止形, 3～4 拍形容詞の終止形が調査対象となっている。しかし, N 型アクセントの一般特性と言われる文節性, 系列化, 複合アクセント法則, 活用におけるアクセント系列の一貫性など (上野 1984, 2011) を明らかにするためには, 名詞 + 2 拍以上の助詞・助動詞, 名詞 + 助詞連続 (にも・だけでも等), 複合語, 外来語, 動詞・形容詞の活用形, 動詞・形容詞 + 助詞・助動詞 (連続) 等のアクセントを調査する必要がある。

本稿では, まず, 本渡方言のアクセント体系と具体的な音調型を整理し, 次に, アクセント句の範囲について考察し, 最後に, 動詞の作るアクセント句の範囲と動詞に接続する助詞・助動詞 (連続) のアクセントについて報告する。調査は, 2005 年 3 月 17 日～18 日, 2011 年 1 月 31 日～2 月 1 日に行った。話者は 2005 年が, 鶴田功氏, 吉野エミ子氏, 山下茂夫氏, 福山夏江氏, 上中満氏, 石井良一氏, 2011 年が鶴田功氏である。本稿では, 鶴田功氏の発話を中心に取り上げる。鶴田氏は昭和 16 年生, 天草市本町下河内 (しもがわち) 生まれで, 外住歴はない。調査票は, 筆者作成の調査票に加え, 窪菌晴夫氏作成の調査票を使用した。録音は Roland R-09HR で行い, マイクは SONY ECM-717 を使用した。ピッチの分析には, Praat を使用した。

2. 本渡方言のアクセント体系

本渡方言のアクセントは, 平山 (1951) では「曖昧音調其の二」と報告され, 上村 (1972) では 2 型アクセントと報告されている。筆者の調査では, 本渡方言のアクセントは 2 型アクセントで, 音調型が揺れることはほとんどなかった。話者も 2 つの型の区別を明確に認識していて, 間違っただけで他の型で発音した場合には, すぐに「今のは間違いでした」といって訂正する。平山 (1951) の「曖昧音調其の二」がどのようなものか, 具体的な記述がないので知ることができないが, 筆者の調査結果は, 上村 (1972) が示した本渡方言のアクセントに近いものであった。ただし, B 型については, 上村 (1972) が低平と観察しているのに対し, 筆者は高平と観察する。筆者の観察した天草市本渡方言のアクセント体系は, 次のようなものである (○は 1 つの拍を, [は音調の上がり目を,] は音調の下がり目をあらわす)。

- (1) A 型: ○]○, ○○]○, ○○]○○, ○○]○○○

最初から数えて 2 拍目が高く, その後で下がる型 (全体が 2 拍以下の場合は 1 拍目の後で下がる)

- B 型: [○○, [○○○, [○○○○, [○○○○○

高く始まり平らな型

具体的なピッチパターンを見ながら, 上記の本渡方言のアクセントについて説明を加えることに

³「覚ユル類」は原文のママ。正しくは「覚ユルの類」であると思われる。

しよう。

3. A型の音調

まず、A型の音調は、最初から数えて2拍目の後で下がる型である。1拍目の高さは任意だが、通常は1拍目が低い○[○]○, ○[○]○○, ○[○]○○○のような型で発音される。2拍目が撥音や長音、促音、二重母音の後部要素の場合には、最初から高く発音され、2拍目の後で下がる型([○]○, [○○]○○, [○○]○○○)で発音されることが多い。このことは、上村(1972)にすでに指摘があり、「A型の、2拍・3拍語で、アクセントの山がくるべき拍に、はねる音・連母音の後部・長音がくるばあいは、次のように実現する。デンワ(電話), ビョーイン(病院), オーサカ(大阪), しかし第1拍だけ高めることもある」(上村1972: 3)と報告されている。筆者の調査でも、同じ現象が観察された。以下に具体例をあげる。

まず、調査語の範囲で、2拍目に撥音、長音、促音、二重母音の後部要素がくる語には(2)のようなものがあり、それらの音調は以下に示すとおりであった。

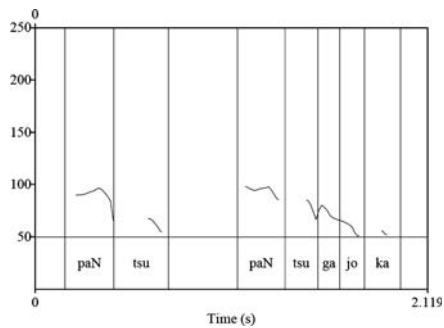
- (2) 撥音: [パン]ツ, [テン]キ(天気), [リン]ゴ(林檎), [トン]ネル, [ロン]ドン
 長音: [コー]ン, [プー]ル*, [キョー]シ(教師), [キョー]ト(京都), [サー]カス,
 [ニー]サン(兄さん), [ジー]ンズ, [プー]メラン
 促音: [ポツ]ト, [ラッキョ]ー(辣蕪)*, [アツ]カ(赤い), [キツ]ドダー(着るだろう)
 二重母音: [ライ]ト, [アイ]サツ(挨拶), [カイ]シャ(会社), [スイ]カ(西瓜)
 (*は[○○]○, [○○]○○の例外となる語)

(3a)～(6b)にピッチ図をあげる(ピッチ図は、単語、単語+ガヨカ(がいい)という構成になっている。「～ガヨカ」では、ヨカのアクセント(B型)が弱まった形で出ている⁴)。1拍目から高くなるこのような現象は、撥音、長音、促音、二重母音の後部要素だけが高くなる(*パ[ん]ツ, *プ[ー]ル, *ポ[ツ]ト)のを避けるための処置だと考えられる。京都方言では撥音、長音、促音、二重母音の後部要素のみ高く発音する型(ニンジン(人参)など)が許されるので、それに比べるとモーラ性が弱いようである。一方、撥音、長音、促音、二重母音の後部要素の後に下がり目がくるという点では、東京方言よりもモーラ性が強いということになる⁵。

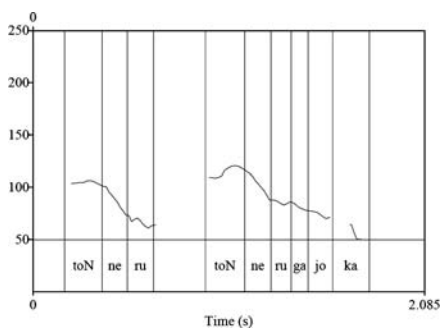
⁴ 「～ガヨカ(がいい)」では「ヨカ」(B型)が高く始まっていない。その理由は、「～がいい」のような判断文では、「いい」の前の要素にフォーカスが置かれ、「いい」にはフォーカスが置かれることがないため、B型のアクセントが弱まった形であられるからだと考えられる。当該方言のフォーカスと音調の関係については、未整理の段階だが、(8)「辣蕪を食う」、(13)「戸を開ける」、(14)「戸を閉める」のような状況叙述文では、クー(食う、B型)、アクル(開ける、A型)、シムル(閉める、B型)のアクセントが弱化しないことを考えると、フォーカスの存在する文では、フォーカスの右側のアクセントが弱化するという法則が、この方言にも成り立つと言えそうである。なお、歴史的には、本渡方言のB型は低く始まる型からの変化だと推定されるので、「～がいい」のような文脈に「いい」の古い音調が残ったという可能性もある(これについては稿を改める)。

⁵ 周知のように、東京方言では、アクセント核を担うべき拍が撥音、長音、促音、二重母音の後部要素の場合、核の位置が1つ左へずれる。例: ニ[ホン]カイ → ニ[ホ]ンカイ(日本海), チ[チュウ]カイ → チ[チュ]ーカイ(地中海)

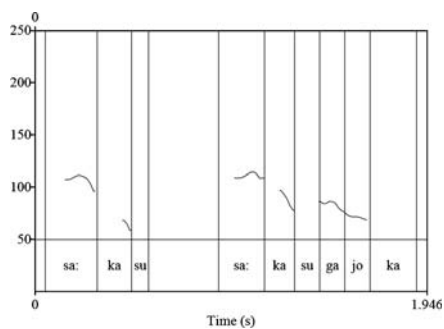
(3a) [パン] ツ, [パン] ツガ ヨカ



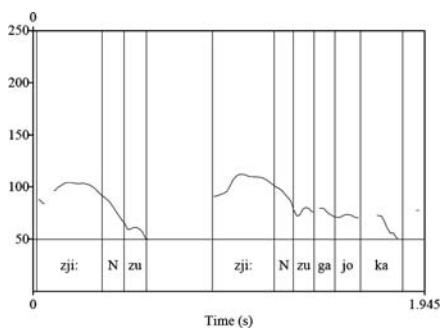
(3b) [トン] ネル, [トン] ネルガ ヨカ



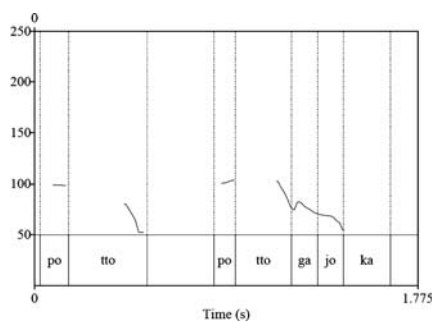
(4a) [サー] カス, [サー] カスガ ヨカ



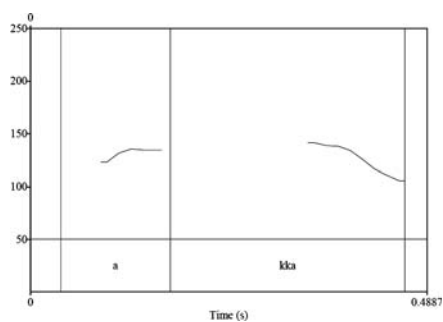
(4b) [ジー] ンス, [ジー] ンスガ ヨカ



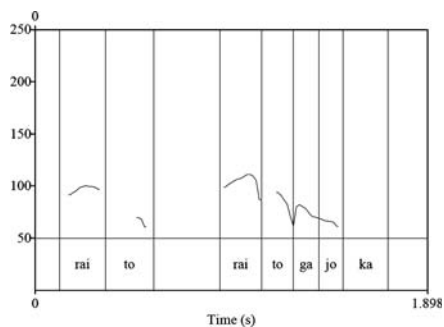
(5a) [ポツ] ト, [ポツ] トガ ヨカ



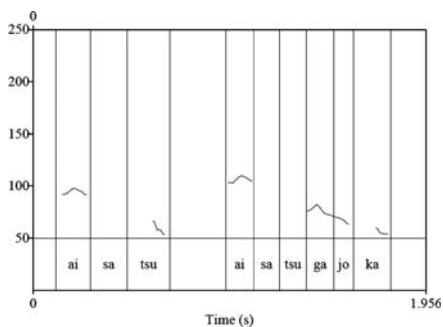
(5b) [アツ] カ (赤い)



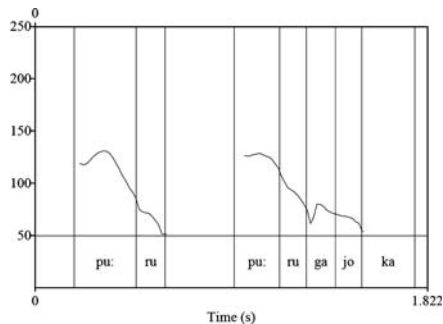
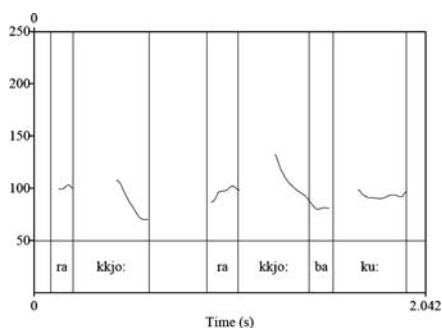
(6a) [ライ] ト, [ライ] トガ ヨカ



(6b) [アイ] サツ (挨拶), [アイ] サツガ ヨカ



(7) [プ]ール, [プ]ールガ ヨカ

(8) [ラッキョ]ー, ラッ[キョ]ーバ [クー
(辣蕒, 辣蕒を食う)

モーラ性は語によって強度に差がある。(7) プール, (8) 辣蕒は, かなりモーラ性が低い例で, (7) [プ]ール, [プ]ールガ ヨカでは, 2拍目の後にくるべき下降が1つ前にずれていて, 東京的な発音になっている。このような発音は, 2拍目が撥音や長音の語でときどき観察される。上村(1972)でも「第1拍だけ高めることもある」という報告がなされているので, 共通語の影響というわけではなく, もととの方言の特徴のようである。(8) [ラッキョ]ー, ラッ[キョ]ーバ [クー(辣蕒を食う)は, 韻律的にはかなり特殊な例で, |ラッ|キョ|ー|(|は韻律単位の切れ目をあらわす)のように, 「ラッ」の部分だけがシラブル的に分節され, それにA型のアクセントがかぶさったものと考えなければならない。ただし, このような例は, 調査の範囲では「辣蕒」1例であった。

|ラッ|キョ|ー| → [ラッキョ]ー, または ラッ[キョ]ー

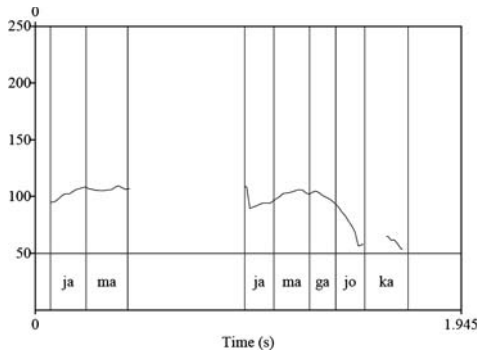
なお, 3拍目が撥音, 長音, 促音の場合, 通常はフ[ラ]ンス, ス[カ]ート, キ[ノ]ー(昨日), コ[ロ]ックのように規則どおりのA型で発音される。ただし, キ[レー]カ(綺麗だ, 綺麗な)のように3拍目(長音の終わり)まで高い発音になることもある。この場合も「レー」が韻律上, 一単位を形成している。

4. B型の音調

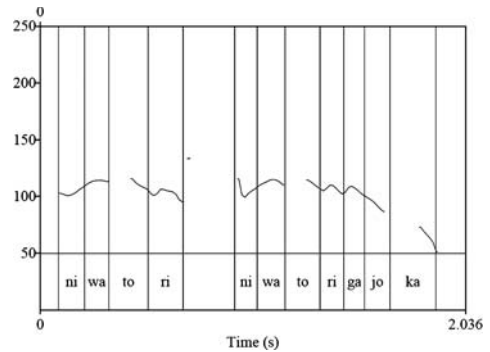
次にB型の音調について。(1)に述べたように, 筆者は本渡方言のB型を「高く始まり平らな型」と観察している。(9)~(12)にB型の「山」「鶏」のピッチ図と, 比較のためにA型の「飴」「甘酒」のピッチ図をあげる。

(9), (10)によると, 「山」「鶏」は100Hzくらいのところから始まり, あとは平らな音調が続いている。(11)の「飴ガヨカ」, (12)の「甘酒」のピッチと比較すると, 「山」「鶏」の方が始まりの部分のピッチが明らかに高い。しかし, ピッチレンジは発話ごとに異なるので, このことだけでB型の始まりがA型の始まりに比べて有意義に高いとは言えない。B型の始まりが高いというためには, B型の語が他の語に続いたときの相対的な高さを見る必要がある。そこで, A型動詞アクル(開ける)のピッチと, B型動詞シムル(閉める)のピッチを比べてみることに

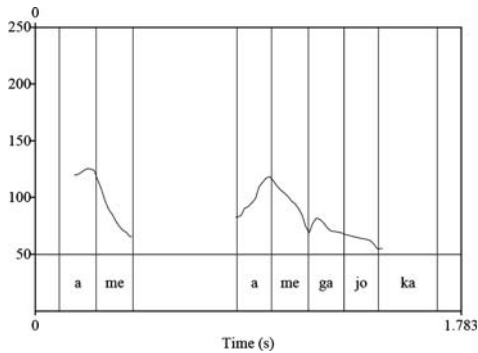
(9) B: [ヤマ (山)], [ヤマガ ヨカ



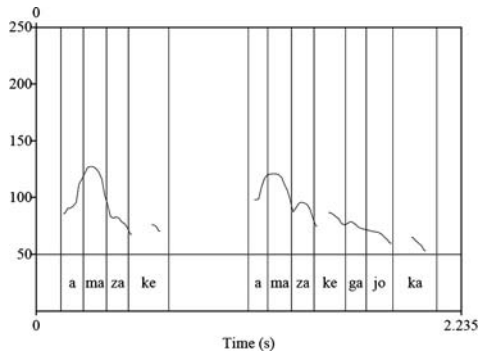
(10) B: [ニワトリ (鶏)], [ニワトリガ ヨカ



(11) A: [ア]メ (飴), ア[メ]ガ ヨカ



(12) A: ア[マ]ザケ (甘酒), ア[マ]ザケガ ヨカ

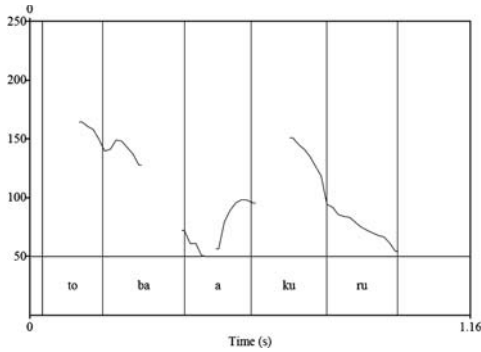


しよう。

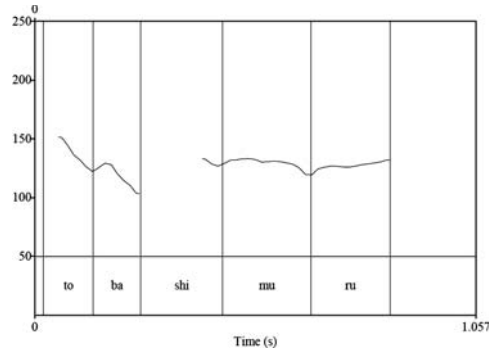
まず, (13) トバ アクル (戸を開ける) を見ると, アクル (開ける, A 型) の第 1 拍目「ア」は, トバ (戸を) の終わりと同じ位置から始まっている。これに対し, (14) トバ シムル (戸を閉める) では, シムル (閉める, B 型) の第 1 拍目の「シ」がトバ (戸を) の終わりよりも高い位置から始まっている。このようなシムル (閉める) のピッチパターンは, 京都方言の高起式無核の動詞「登る」(ヤマニ フボル (山に登る)) のピッチパターンとよく似ている。逆に, 京都方言の低起式無核の動詞「歩く」(ヤマオ アルク (山を歩く)) や鹿児島方言の B 型の動詞シムッ (閉める) (トオ シムッ (戸を閉める)) には似ていない。

また, トバ (戸を) の下降のしかたが, (14) では (13) より小さくなっていることも注目される。シムル (閉める, B 型) が高く始まるため, (14) では「トバ」が大きく下降できないのである。以上から, 本渡方言の B 型は高平であると判断される。

(13) A + A : [ト]バ ア[ク]ル (戸を開ける)

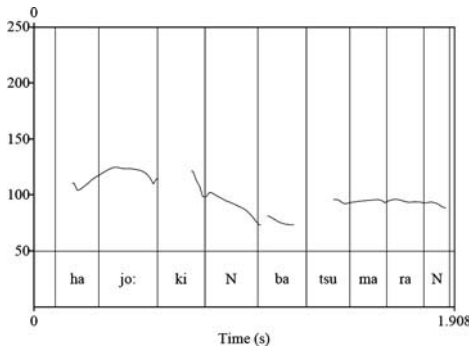


(14) A + B : [ト]バ [シム]ル (戸を閉める)

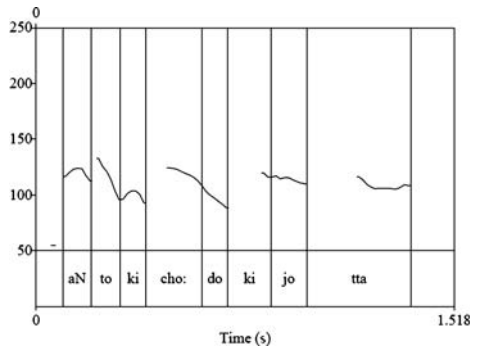


B型が高く始まることを示す例をもう少しあげておこう (下線部が該当語)。(15)では「ツマラン」が、(16)では「キヨッタ」が、(17)では「コラレン」が、(18)では「シメラルル」が前接語よりも高く始まっている。

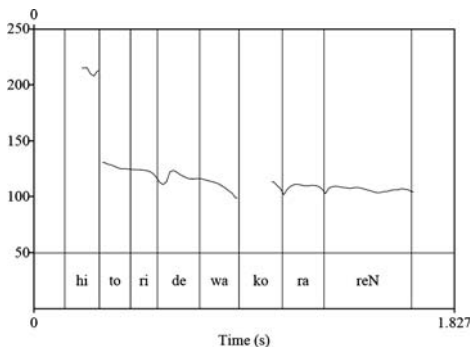
(15) [ハヨー (B) キンバ (A)]
[ツマラン (B) (早く着なければだめだ)]



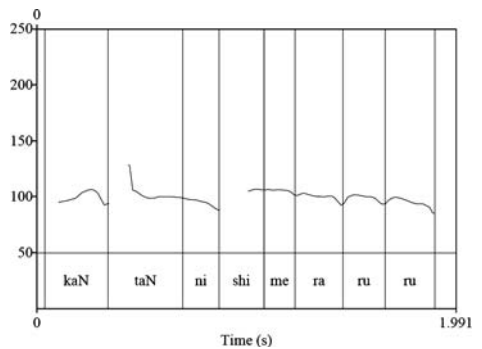
(16) [アントキ (A) [チョー]ド(A)]
[キヨッタ (B) (あの時ちょうど来つつあった)]



(17) [ヒトリデワ (B) [コラレン (B)]
(一人では来れない)



(18) [カンタンニ (B) [シメラルル (B)]
(簡単に閉められる)



5. アクセントの及ぶ範囲

アクセントの及ぶ範囲は、基本的には文節である。例えば、アメ（飴, A型）は、単独では[A]メだが、助詞ガ（が）、バ（を）、カラ（から）、カラモ（からも）が接続すると、(19)に示すように、高い部分がメの拍へ移動し、文節全体がA型のアクセントに実現する。アメ（雨, B型）でも同じように、文節全体がB型のアクセントに実現する。

- (19) 飴 (A型): [A]メ ア[メ]ガ ア[メ]バ (を) ア[メ]カラ ア[メ]カラモ
 雨 (B型): [A]メ [A]メガ [A]メバ (を) [A]メカラ [A]メカラモ

ただし、ジャ（だ）は名詞のアクセントの及ぶ範囲には入らない。(20)に示すように、アメジャ（飴だ）では高い部分の移動が起きないし、アメジャ（雨だ）では高い部分がジャまで及んでいない。「飴」「雨」の部分でアクセント句が切れ、ジャで新たなアクセント句が立ち上がっているためである。このことから、ジャ（断定）は名詞から独立してアクセント句を作る助動詞だと考えられる。

- (20) 飴 (A型): [A]メ [A]メジャ [A]メジャッタ [A]メジャ[ネ]ー (飴だね)
 雨 (B型): [A]メ [A]メジャ [A]メジャッタ [A]メジャ[ネ]ー (雨だね)

では、ジャが作る句はA型なのかB型なのか。(20)の例を見ると、ジャにはどこにも下降があらわれないので、ジャのアクセントはB型と推定される。ただし、高く始まるというB型の特徴はあらわれていない。先に、～ガヨカ（～がいい）では、ヨカ（B型）のアクセントが弱まっていると述べたが、それと同じように、～ジャでもアクセントの弱化が起きていると考えられる。

一方、動詞では「動詞+助詞・助動詞（連続）」が1つのアクセント句を形成する場合と、動詞部分でアクセント句がいったん終わり、助詞・助動詞から新たなアクセント句が立ち上がる場合とがあり、後者もかなりの数にのぼる。これについて、次の節で見ることにしよう。

6. 動詞句のアクセントと助詞・助動詞（連続）のアクセント

まず、「動詞+助詞・助動詞（連続）」が1つのアクセント句を形成する場合について。このような助詞・助動詞には、(21)のようなものがある。なお、文法的には動詞接辞と助詞・助動詞を区別する必要があるが、ここではその区別をせず、動詞の後ろに続く要素をすべて助詞・助動詞と呼んでいる。接辞か助詞・助動詞かは、アクセントの性質を考慮した上で決定すべきものとする（木部 1983, 1988, 1989, 2000）。

- (21) ン（打消）、ラルル（受身、可能⁶）、サスル（使役）、タ（過去）、テン（条件）、
 ンバ（当為）、マス（丁寧）、ヤス（丁寧）、ラス（尊敬）、ナス（尊敬）、
 ヨル（動作の継続）、バツテン・バツター・バツテカ（逆接）、ド・ドダー（推量）、
 ロ（命令）、ウダー（勧誘）

⁶「ラルル」は普通、状況可能をあらわすが、能力可能の文脈で使われることもある。

木部 (1988, 1989, 2000) では、これらを「従属式」の助詞・助動詞と呼んでいる。(22) に用例をあげる。中央の列が A 型動詞アクル (開ける) の例, 右の列が B 型動詞シムル (閉める) の例である (本稿の末尾に動詞活用, 及び動詞+助詞・助動詞のアクセント資料を添付しているので, それらも参照されたい)。

(22) 「動詞+従属式の助詞・助動詞」のアクセント例

助詞・助動詞	A 型 ア[クル]	B 型 [シムル]
ン (打消)	ア[ケ]ン (開けない)	[シメン (閉めない)]
ラルル (受身・可能)	ア[ケ]ラルル (開けられる)	[シメラルル (閉められる)]
サスル (使役)	ア[ケ]サスル (開けさせる)	[シメサスル (閉めさせる)]
タ (過去)	ア[ケ]タ (開けた)	[シメタ (閉めた)]
テン (条件)	ア[ケ]テン (開けても)	[シメテン (閉めても)]
ンバ (当為)	ア[ケ]ンバ [ツマラン (開けなければならない)]	[シメンバ [イ]カン (閉めなければいけない)]
マス (丁寧)	ア[ケ]マス (開けます)	[シメマス (閉めます)]
ヤス (丁寧)	ア[ケ]ヤス (開けます)	[シメヤス (閉めます)]
ラス (尊敬)	ア[ケ]ラス (開けなさる)	[シメラス (閉めなさる)]
ナス (尊敬)	ア[ケ]ナス (開けなさる)	[シメナス (閉めなさる)]
ヨル (動作の継続)	ア[ケ]ヨル (開けつつある)	[シメヨル (閉めつつある)]
バッテン・バッテター・ バッテカ (逆接)	ア[ク]ルバッテン (開けるけれども) ア[ク]ルバッテター (ヶ) ア[ク]ルバッテカ (ヶ)	[シムルバッテン (閉めるけれども) [シムルバッテター (ヶ) [シムルバッテカ (ヶ)]
ド・ドダー (推量)	ア[ク]ッド (開けるだろう) ア[ク]ッドダー (ヶ)	[シムッド (閉めるだろう) [シムッドダー (ヶ)]
ロ (命令)	ア[ケ]ロ (開けろ)	[シメロ (閉めろ)]
ウダー (勧誘)	ア[キュ]ーダー (開けよう)	[シミューダー (閉めよう)]

これらの助詞・助動詞は, A 型のアクル (開ける) に続くと「動詞+助詞・助動詞」全体が A 型の音調になり, B 型のシムル (閉める) に続くと「動詞+助詞・助動詞」全体が B 型の音調になる。つまり, 「動詞+助詞・助動詞」のアクセントを決めるのは動詞であって, 助詞・助動詞はアクセントの決定に関与していない。このような助詞・助動詞は, それ自身はアクセントをもっておらず, 動詞に接続した後, 動詞のアクセントが「動詞+助詞・助動詞」全体に及ぶのだと考えられる。

従属式の助詞・助動詞は, 相互に承接することがあるが, 助詞・助動詞の連続も自身でアクセント句を作ることはなく, 動詞のアクセントに従属する。(23) に用例をあげる。

(23) 従属式の助詞・助動詞が連続した場合のアクセント例

助詞・助動詞 1	助詞・助動詞 2	A 型 ア[ク]ル	B 型 [シムル
ラルル (可能)	ン (打消) タ (過去) ドダー (推量) ンドダー (打消推量)	ア[ケ]ラレン ア[ケ]ラレタ ア[ケ]ラルッ[ドダー ア[ケ]ラレン[ドダー	[シメラレン [シメラレタ [シメラルッドダー [シメラレンドダー
サスル (使役)	タ (過去) ラルル (受身) ラレン (受身打消) ラレタ (受身過去)	ア[ケ]サセタ ア[ケ]サセラルル ア[ケ]サセラレン ア[ケ]サセラレタ	[シメサセタ [シメサセラルル [シメサセラレン [シメサセラレタ
ヨル (動作の継続)	タ (過去)	ア[ケ]ヨッタ	[シメヨッタ
ナス (尊敬)	タ (過去)	ア[ケ]ナシタ	[シメナシタ
ラス (尊敬)	ン (打消)	ア[ケ]ラッサン	[シメラッサン
ヤス (丁寧)	ン (打消) タ (過去)	ア[ケ]ヤッセン ア[ケ]ヤシタ	[シメヤッセン [シメヤシタ
マス (丁寧)	ン (打消) タ (過去)	ア[ケ]マッセン ア[ケ]マシタ	[シメマッセン [シメマシタ
タ (過去)	バッテン (逆接)	ア[ケ]タバッテン	[シメタバッテン

ア[ケ]ラルッ[ドダー, ア[ケ]ラレン[ドダー については, 説明が必要だろう。もし, ラルッドダー, ラレンドダー が従属式ならば, *ア[ケ]ラルッドダー (開けられるだろう), *ア[ケ]ラレンドダー (開けられないだろう) のようになるはずだからである。A 型の句尾がこのように上昇する理由は, 低い拍が長く続くことを避けるための処置ではないかと思われるが, ド (推量) には (24) のような例もあることから, あるいはド (ダー) が B 型のアクセントをもっていて, アクセント句が長くなった場合に B 型のアクセントが顕在化するという可能性もある。

(24) ア[ク]ッド モン (開けるだろう)

ア[ケ]ラルッ[ド] モン (開けられるだろう)

ア[ケ]ラレン[ド] モン (開けられないだろう)

後にあげるソーナモン (伝聞), ソーニアル (様態) にも同じ現象が見られ, 複合語も含め, アクセント句が長くなった場合の音調に関する調査がもう少し必要である。

次に, 動詞部分でアクセント句が切れ, 助詞・助動詞から新たなアクセント句が立ち上がるものについて見てみよう。このような助詞・助動詞に以下のようなものがある。

(25) キル (能力可能), ユル (能力可能⁷), ナラン (不可能), トル (結果の継続),

ゴタル (様態), カー (疑問), ヤー (疑問), ナー (疑問), ネー (疑問),

トカー (疑問), トナー (疑問), トヤー (疑問), トネー (疑問)

木部 (1988, 1989, 2000) では, これらを「独立式」の助詞・助動詞と呼んでいる。(26) に用例をあげる。

⁷「ユル」は普通, 能力可能をあらわすが, 状況可能の文脈で使われることもある。

(26) 「動詞+独立式の助詞・助動詞」のアクセント例

助詞・助動詞	A型 ア[ク]ル	B型 [シム]ル
キル (能力可能)	[ア]ケ [キル (開けられる)] [ア]ケ [キラン (開けられない)] [ア]ケ [キッタ (開けられた)] [ア]ケ [キッド (開けられるだろう)] [ア]ケ [キランドダー (開けられないだろう)]	[シメ] キル (閉められる) [シメ] キラン (閉められない) [シメ] キッタ (閉められた) [シメ] キッド (閉められるだろう) [シメ] キランドダー (開められないだろう)
ユル (能力可能)	[ア]ケ [ユル (開けられる)] [ア]ケ [エン (開けられない)] [ア]ケ [エタ (開けられた)] [ア]ケ [ユッド (開けられるだろう)] [ア]ケ [ユッドダー (開けられるだろう)]	[シメ] ユル (閉められる) [シメ] エン (閉められない) [シメ] エタ (閉められた) [シメ] ユッド (閉められるだろう) [シメ] エンドダー (閉められないだろう)
ナラン (不可能)	[ア]ケ [ナラン (開けられない)]	[シメ] ナラン (閉められない)
トル (結果の継続)	[ア]ケ トル (開けている) [ア]ケ ト[ラン] (開けていない) [ア]ケ トッタ (開けていた)	[シメ] トル (閉めている) [シメ] ト[ラン] (閉めていない) [シメ] トッタ (閉めていた)
ゴタル (様態)	ア[ク]ル ゴタル (開けるようだ) ア[ク]ル ゴタッタ (開けるようだった)	[シム]ル ゴタル (閉めるようだ) [シム]ル ゴタッタ (閉めるようだった)
カー (疑問)	ア[ク]ル カー (開けるか) ア[ク]ル キャー (ヶ)	[シム]ル カー (閉めるか) [シム]ル キャー (ヶ)
ヤー (疑問)	ア[ク]ル ヤー (ヶ)	[シム]ル ヤー (ヶ)
ナー (疑問)	ア[ク]ル ナー (開けますか)	[シム]ル ナー (閉めますか)
ネー (疑問)	ア[ク]ル ネー (ヶ)	[シム]ル ネー (ヶ)
トカー (疑問)	ア[ク]ット カー (開けるのか)	[シム]ット カー (閉めるのか)
トナー (疑問)	ア[ク]ット ナー (ヶ)	[シム]ット ナー (ヶ)
トヤー (疑問)	ア[ク]ット ヤー (ヶ)	[シム]ット ヤー (ヶ)
トネー (疑問)	ア[ク]ット ネー (ヶ)	[シム]ット ネー (ヶ)

キル (能力可能), ユル (能力可能), ナラン (不可能) は, 高く始まり平らな音調になるので, アクセントはB型である。トル (結果の継続) は, 言い切りでは [ア]ケ トル (開けている), [シメ] トル (閉めている) だが, 打消形では [ア]ケ ト[ラン] (開けていない), [シメ] ト[ラン] (閉めていない) のように2拍目の後で下降する。従って, トルは本来A型のアクセントをもち, 打消形では (あるいは, 前接語との間に2拍以上の長さがある場合には), A型のアクセントがそのまま顕在化するが, それ以外の場合には, アクセントが弱化すると考えられる (そうでないと, トランで下降があらわれる理由が説明できない)。

(27) *Aアケ (開け) Aトル (ている) → [ア]ケ トル (トルのアクセントの弱化)

*Aアケ (開け) Aトラン (ていない) → [ア]ケ ト[ラン]

*Aアケ (開け) Aトッタ (ていた) → [ア]ケ トッタ (トッタのアクセントの弱化)

トルがB型動詞シムル (閉める) に接続した場合には, トルのアクセントの弱化に伴い, 動詞との接合部分に下降があらわれる。アクセントの弱化と同時に, 第1拍目に「低」が付与されるのだと考えられる。

- (28) *B シメ (閉め) A トル (ている) → [シメ] トル (トルのアクセントの弱化)
 *B シメ (閉め) A トラン (ていない) → [シメ ト[ラン] ([シメ] ト[ラン]も可)
 *B シメ (閉め) A トッタ (ていた) → [シメ] トッタ (トッタのアクセントの弱化)

なお、長崎方言のトル (結果の継続) も打消形のみ A 型のアクセントになるという (坂口 2001)。両方言に共通の規則が働いていることになる (これについては後に述べる)。

ゴタル (様態) は、A 型動詞の後でも B 型動詞の後でも低く始まっている。この点でトルに似ているが、トルとは異なり、どのような場合にもゴタルの内部に下降があらわれることがない。また、直前に低の拍が 2 拍以上続くと、ゴタルが高く始まる (29a)。逆に、直前に低の拍が 2 拍以上続かない場合は、ゴタルが低く始まる ((26) の例, (29b))。

- (29) a ア[ケ]ラルル [ゴタル, ア[ケ]ラルル [ゴタッタ (開けられるようだ, ~だった)
 b [シメラルル] ゴタル, [シメラルル] ゴタッタ (閉められるようだ, ~だった)

このことから、ゴタルは B 型のアクセントをもち、直前に低が 2 拍以上続く場合は B 型が顕在化するが、そうでない場合はアクセントが弱化し、動詞 (+助動詞) に対して低く接続するのだと考えられる。

カー以下の疑問をあらわす文末詞は、この後に他の助詞・助動詞が続かない。また、文末のイントネーションがかぶさるので、これらのアクセントが A 型なのか B 型なのか、判断が難しいが、B 型動詞のシムル (閉める) に続いたときに、*[シムルカー, *[シムットカー とならないことから、従属式でないことは明らかである。

動詞の打消形に付く「ジャッタ・ダッタ (過去)」「デシタ (過去, 丁寧)」も独立式である。

(30) ジャッタ・ダッタ・デシタのアクセント例

助詞・助動詞 1	助詞・助動詞 2	A 型 ア[ク]ル	B 型 [シムル
～ (打消)	ジャッタ (過去)	ア[ケン] ジャッタ ア[ケ]ラレン ジャッタ ア[ケ]サセラレン ジャッタ ア[ケ]ラッサン ジャッタ	[シメン] ジャッタ [シメラレン] ジャッタ [シメサセラレン] ジャッタ [シメラッサン] ジャッタ
～ (打消)	ダッタ (過去)	ア[ケン] ダッタ ア[ケ]ラレン ダッタ ア[ケ]サセラレン ダッタ ア[ケ]ラッサン ダッタ	[シメン] ダッタ [シメラレン] ダッタ [シメサセラレン] ダッタ [シメラッサン] ダッタ
～ (打消)	デシタ (過去, 丁寧)	ア[ケ]マッセン デシタ ア[ケ]ヤッセン デシタ	[シメマッセン] デシタ [シメヤッセン] デシタ

助詞・助動詞の中には従属式と独立式が合わさったようなアクセントをもつものがある。(31), (32) にその例をあげる。

- (31) カモシレン (推定), トチュータ (伝聞), ソーナモン (伝聞), ソーニアル (様態),
 タッチャ (条件)

(32) 「従属式+独立式」の助詞・助動詞のアクセント例

助詞・助動詞	A型 ア[ク]ル	B型 [シムル
カモシレン (推定)	ア[ク]ルカモ シ[レ]ン	[シムルカモ シレ]ン
トチュータ (伝聞)	ア[ク]ット チュータ	[シムット] チュータ
ソーナモン (伝聞)	ア[ク]ルソー[ナ] モン	[シムルソーナ] モン
ソーニアル (様態)	ア[ク]ルソーニ アル	[シムルソーニ] アル
	ア[ク]ルソーニ アッタ	[シムルソーニ] アッタ
	ア[ケ]ソーニ アル	[シメソーニ] アル
	ア[ケ]ソーニ アッタ	[シメソーニ] アッタ
ア[ケ]ラレソー[ニ] アル	ア[ケ]ラレソー[ニ] アル	[シメラレソーニ] アル
	ア[ケ]ラレソー[ニ] アッタ	[シメラレソーニ] アッタ
タッチャ (条件)	ア[ケ]タツ チャ (開けたとしても)	[シメタツ] チャ (閉めたとしても)

これらは形式上も2語の連続であることが明らかで、もとの2語としてのアクセントがそのまま残ったものと考えられる。ア[ク]ルソー[ナ] モン (開けるそうだ), ア[ケ]ラレソー[ニ] アル (開けられそうだ) の「ナ」の上昇, 「ニ」の上昇については, ド (ダー) の箇所述べたとおりである。

7. 長崎方言, 鹿児島方言との比較

本渡方言の助詞・助動詞のアクセントの特色を見るために, 長崎方言, 鹿児島方言のアクセントと比較してみることにしよう。

まず, ヨル (動作の継続), トル (結果の継続) のアクセント。坂口 (2001: 41) によると, 長崎方言では, ヨルとトルは同じアクセントで, いずれも従属式。ただし, 否定形のみ独立式A型になるという ((33) に坂口 (2001) のアクセント表記を本稿の表記方式に直して示す。・はアクセント句の切れ目をあらわす。トルも同じアクセント)。

(33) A : [ナキ]ヨル (泣いている) [ナキ]ヨッタ (過去) [ナキ]ヨラス (泣いておられる)

B : ヨミヨ[ル] (読んでいる) ヨミヨッ[タ] (過去) ヨミヨラ[ス] (読んでおられる)

A : [ナ]キ・ヨ[ラ]ン or [ナキ]・ヨ[ラ]ン (泣いていない)

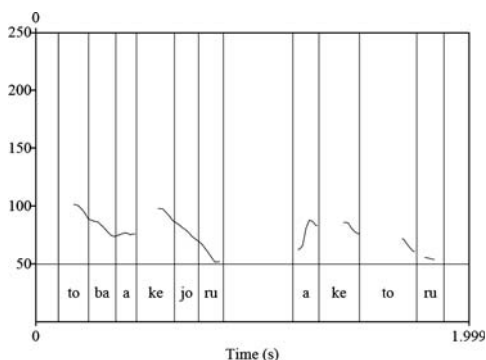
B : ヨ[ミ]・ヨ[ラ]ン or ヨミ・ヨ[ラ]ン (読んでいない)

A : [ナ]キ・ヨ[ラッ]サン or [ナキ]・ヨ[ラッ]サン (泣いておられない)

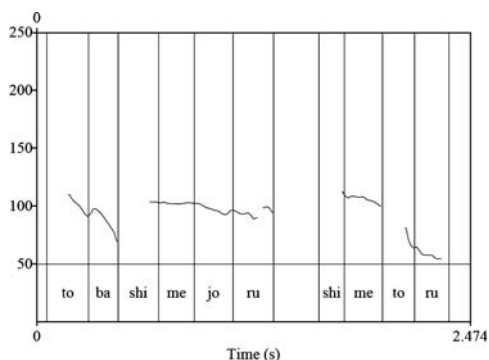
B : ヨ[ミ]・ヨ[ラッ]サン or ヨミ・ヨ[ラッ]サン (読んでおられない)

本渡方言では以下にあげるように, ヨル (従属式) とトル (独立式A型) はB型動詞に接続したときにアクセントが異なる。

- (34) [ト]バ ア[ケ]ヨル／ア[ケ]トル
(戸を開けつつある／開けている)



- (35) [ト]バ [シメ]ヨル／[シメ]トル
(戸を閉めつつある／閉めている)



鹿児島方言では、動作の継続と結果の継続がどちらもチョツであらわされるが、(36)に示すように、チョツは独立式で(木部 2000: 44)、本渡方言のトル(結果の継続)と共通している。

- (36) A: [ツ]ケ・チョツ (漬けている) [ツ]ケ・チョツタ (過去) [ツ]ケ・チョラン (打消)
B: ツ[ケ]・チョツ (付けている) ツ[ケ]・チョツタ (過去) ツ[ケ]・チョラン (打消)
- A: [ツ]ケ・チョ[ラン]デ (漬けていないから)
B: ツ[ケ]・チョ[ラン]デ (付けていないから)

次に、バツテン(逆接)。本渡方言のバツテンは、(21)、(22)にあげたように従属式だが、長崎方言のバツテンは、独立式である(坂口 2001: 40)。

- | | | |
|------|--------------------|-----------|
| (37) | 本渡方言 | 長崎方言 |
| | 行く(A)けれど: イ[ク]バツテン | [イ]ク・バツテン |
| | 読む(B)けれど: [ヨム]バツテン | ヨ[ム]・バツテン |

ゴタル(様態)は、本渡方言と長崎方言では独立式(坂口 2001: 40)だが、鹿児島方言のゴチャツは、ゴチャツの内部にアクセントの切れ目をもつ特殊式(木部 2000: 47)である。

- | | | | |
|------|--------------------|----------|-----------|
| (38) | 本渡方言 | 長崎方言 | 鹿児島方言 |
| | 泣く(A)ようだ: [ナ]ク・ゴタル | [ナ]ク・ゴタル | [ナツ]ゴ・チャツ |
| | 降る(B)ようだ: [フル]・ゴタル | フ[ル]・ゴタル | フツ[ゴ]・チャツ |

この他にも長崎方言や鹿児島方言との共通点、相違点があるが、詳細は別稿に譲る。また、これらの相違点がどのようにして生じたのかは、西南部九州2型アクセントの成立の問題とも関わるが、これについても別稿に譲る。

8. まとめと課題

本稿では、天草市本渡方言の2型アクセント体系と、A型、B型の音調型について報告し、それを踏まえて、動詞句のアクセント、動詞に接続する助詞・助動詞のアクセントについて報告した。今後の課題は、複合語、外来語など、長い語のアクセントの調査である。特に、長崎方言で指摘されている、語の拍数が5拍より長くなるとA型が減ってB型が多くなる現象（坂口2001、松浦2005）、それに伴い、5拍を超える複合語では、平山（1951）のいう一般複合上の法則が成立しなくなる現象（松浦（2008）のいう「例外的複合語アクセント」の現象）が本渡方言にもあるのか、という問題がある。

今回の調査語の範囲では、わずかではあるが、次のような例を拾うことができた。これによると、本渡方言にも松浦（2008）のいうような、前部要素が3モーラ以上の場合に「例外的複合語アクセント」があらわれるという規則が成り立ちそうである。今後、調査語彙を増やして確かめる必要がある。

(39)	前部要素 2 拍	前部要素 3 拍
	A 型 [ナ]ツ (夏)	A 型 オ[ナ]ゴ (女)
	A 型 ナ[ツ]ヤスミ (夏休み)	B 型 [オナゴコトバ (女言葉)
	A 型 ナ[ツ]マツリ (夏祭り)	B 型 [オナゴアソビ (女遊び)
		B 型 [オナゴトモダチ (女友だち)

さらに、複合動詞のアクセントについては、現在のところ、長崎方言についても本渡方言についても、データがほとんどない。名詞と同じように、5拍を境にしてA型が減ってB型が多くなるのか、それに伴い、複合語のアクセント法則が成り立たなくなるのかなど、すべて今後の課題である。

参 照 文 献

- 平山輝男（1951）『九州方言音調の研究』東京：学界之指針社。
 上村孝二（1972）「天草島方言のアクセント」『鹿児島大学 文学科論集』7: 1-19。
 木部暢子（1983）「付属語のアクセントについて」『国語学』134: 23-42。
 木部暢子（1988）「二型アクセントにおける助詞・助動詞のアクセントについて—長崎県加津佐方言—」『鹿児島大学 人文学論集』28: 47-62。
 木部暢子（1989）「鹿児島二型アクセントにおける助詞・助動詞のアクセント」奥村三雄教授退官記念論文集刊行会（編）『奥村三雄教授退官記念 国語学論叢』1-16。東京：桜楓社。
 木部暢子（2000）『西南部九州二型アクセントの研究』東京：勉誠出版。
 木部暢子（2011）「九州2型アクセントの実態—熊本県天草市方言の動詞活用のアクセントを中心に—」公開シンポジウム「N型アクセントの原理と成立」（2011年5月21日、神戸大学）発表資料。
 松浦年男（2005）「島原方言における複合語音調の中和と外来音調」『音韻研究』8: 49-57。
 松浦年男（2008）「長崎方言における例外的複合語アクセントの生起条件」『音韻研究』11: 11-19。
 坂口至（2001）「長崎方言のアクセント」『音声研究』5(3): 33-41。
 上野善道（1984）「N型アクセントの一般特性について」平山輝男博士古稀記念会（編）『現代方言学の課題』第2巻：167-209。東京：明治書院。
 上野善道（2011）「N型アクセントとは何か」公開シンポジウム「N型アクセントの原理と成立」（2011年5月21日、神戸大学）発表資料。

Accent System of the Hondo Amakusa Dialect in Japan: Accent of Verb Phrases

KIBE Nobuko

Department of Language Change and Variation,
National Institute for Japanese Language and Linguistics

Abstract

There have been several detailed studies of the accent systems of the Nagasaki and Kagoshima dialects, which are subtypes of the two-pattern tone system in Southwest Kyushu. These studies have revealed the commonalities and differences between the accent systems of these two dialects. The accent system of the dialect of Amakusa city in Kumamoto prefecture provides crucial evidence regarding the origin and history of the two-pattern tone system in Southwest Kyushu, because this dialect is located between the Nagasaki and Kagoshima dialects, both geographically and linguistically. In this paper, I consider two aspects of the accent of the Hondo Amakusa dialect. (i) This dialect has the two-pattern tone system. Type-A words have a pitch fall between the second and third morae, while type-B words appear with a high level tone. (ii) The accentual phrase is basically identical to the syntactic phrase: verb + *sasuru* (causative) and verb + *batten* (adversative) constitute one accentual phrase. However, verb + *toru* (resultative) and verb + *kiru* (potential) are separated into two accentual phrases.

Key words: two-pattern tone system, accent of particles, accentual phrase, Nagasaki dialect, Kagoshima dialect

天草市本渡方言のアクセント資料

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言 (. は母音の無声化を表す)
	着る (A)	
断定	服を着る	[フ.クバ [キ]ル
断定過去	服を着た	[フ.クバ [キ]タ
打消	そんな服は着ない	[ソガン フクワ [キ]ン
打消過去	そんな服は着なかった	[ソガン フクワ [キ]ン ジャッタ/ダッタ
他動詞形	服を着せる	[フ.クバ キ.[ス]ル
他動詞形過去	服を着せた	[フ.クバ キ.[セ]タ
他動詞形受身	黒い服を着せられる	[クロカ フ.クバ キ.[セ]ラルル
他動詞形受身過去	黒い服を着せられた	[クロカ フ.クバ キ.[セ]ラレタ
他動詞形受身打消	黒い服は着せられない	[クロカ フ.クワ キ.[セ]ラレン
他動詞形受身打消過去	黒い服は着せられなかった	[クロカ フ.クワ キ.[セ]ラレン ジャッタ/ ダッタ
希望	着たい	[キュー] ゴタル
希望	着たい	キ.[タ]カ
希望打消	服を着たくない	[フ.クバ キュー]ゴト [ナカ
動作継続	今、服を着ている	[イマ フ.クバ キ[ヨ]ル
動作継続過去	あの時ちょうど服を着ていた	ア[ノ]トキ [チョー]ド フ.クバ キ[ヨ]ッタ
結果継続	赤い服を着ている	[アッ]カ フ.クバ [キ.] トル
結果継続過去	赤い服を着ていた	[アッ]カ フ.クバ [キ.] トッタ
結果継続打消	赤い服は着ていない	[アッ]カ フ.クワ [キ.] ト[ラン]
結果継続打消過去	着ていなかった	[キ.] ト[ラン] ジャッタ/ダッタ
推量	その服を着るだろう	[ソ]ン フ.クバ [キッ]ドダー
推量	その服を着るだろう	[ソ]ン フ.クバ [キッ]ド モン
推定	その服を着るかもしれない	[ソ]ン フ.クバ キ[ル]カモ シ[レ]ン
様態	その服を着るようだ	[ソ]ン フ.クバ [キ]ル ゴタル
様態過去	その服を着るようだった	[ソ]ン フ.クバ [キ]ル ゴタッタ
伝聞	その服を着るそうだ	[ソ]ン フ.クバ [キッ]ト チュータ/[キッ]ト ソーニアル
丁寧	服を着ます	[フ.クバ キ[マ]ス
丁寧	服を着ます	[フ.クバ キ[ヤ]ス(古)
丁寧過去	服を着ました	[フ.クバ キ[マ]シタ
丁寧過去	服を着ました	[フ.クバ キ[ヤ]シタ(古)
丁寧打消	その服は着ません	[ソ]ノ フ.クワ キ[マ]ッセン
丁寧打消	その服は着ません	[ソ]ノ フ.クワ キ[ヤ]ッセン(古)
丁寧打消過去	その服は着ませんでした	[ソ]ノ フ.クワ キ[マ]ッセン デシタ
丁寧打消過去	その服は着ませんでした	[ソ]ノ フ.クワ キ[ヤ]ッセン デシタ(古)
接続条件	きれいな服を着ても、似合わない	キ[レー]カ フ.クバ キ.[テ]モ ニ[ア]ワン
接続条件	きれいな服を着ても、似合わない	キ[レー]カ フ.クバ キ.[タ]ッ チャ ニ[ア]ワン
接続逆接	きれいな服を着たけれども	キ[レー]カ フ.クバ キ.[タ]ッパッテ
接続逆接	きれいな服を着たけれども	キ[レー]カ フ.クバ キ.[タ]ッパッテン
接続テ形	きれいな服を着て、出かけた	キ[レー]カ フ.クバ [キ]テ [デ]カケタ
当為	早く着なければいけない	[ハヨー [キ]ンバ [ツマラン]/[デケン]/[イ]カン
命令	早く着ろ	[ハヨ [キ]ロ
命令	早く着ろ	[ハヨ [キ]レ
命令	早く着ろ	[ハヨ キ[ラン] カ(せかしている)
命令	早く着てみろ	[ハヨ [キ.]テ ミロ
依頼	早く着てくれ	[ハヨ [キ.]テ クレ

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
勧誘	いっしょに着よう	[イッシヨニ キュー]ダ
尊敬	服を着なさる	[フ.クバ キ[ナ]ス
尊敬過去	服を着なさった	[フ.クバ キ[ナ]シ.タ
尊敬打消	服を着なさない	[フ.クバ キ[ナ]サラン
尊敬打消過去	服を着なさらなかった	[フ.クバ キ[ナ]サラン ジャッタ/ダッタ
疑問詞疑問	どの服を着るか?	[ド]ン フ.クバ [キ]ル カー(目下)
疑問詞疑問	どの服を着るのか?	[ド]ン フ.クバ [キ]ット カー(目下へ。女性是不使用)
疑問詞疑問	どの服を着るのか?	[ド]ン フ.クバ [キ]ット ヤー(目下へ。女性是不使用)
疑問詞疑問	どの服を着るのですか?	[ド]ン フ.クバ [キ]ット ナー(目上へ)
疑問詞疑問	どの服を着るのですか?	[ド]ン フ.クバ [キ]ット ネー(目上へ)
真偽疑問	おまえはその服を着るか?	[オマエワ [ソ]ン フ.クバ [キ]ル カ(目下へ。女性是不使用)
真偽疑問	その服を着るか?	[ソ]ン フ.クバ [キ]ル ヤー(目下へ。女性是不使用)
真偽疑問	その服を着ますか?	[ソ]ン フ.クバ [キ]ル ナー(目上へ)
真偽疑問	その服を着ますか?	[ソ]ン フ.クバ [キ]ル ネー(目上へ)
真偽疑問	その服を着るのか?	[ソ]ン フ.クバ [キ]ット カー(目下へ。女性是不使用)
真偽疑問	その服を着るのか?	[ソ]ン フ.クバ [キ]ット ヤー(目下へ。女性是不使用)
真偽疑問	その服を着るのですか?	[ソ]ン フ.クバ [キ]ット ナー(目上へ)
真偽疑問	その服を着るのですか?	[ソ]ン フ.クバ [キ]ット ネー(目上へ)
可能	まだ着られる	[マダ キ[ラ]ルル
可能	一人で着られる	[ヒ.トリデ キ[ラ]ルル
可能	一人で着られる	[ヒ.トリデ [キ]ー [キ]ル
可能	一人で着られる	[ヒ.トリデ [キ]ー [ユ]ル
可能打消	もう着られない	[モー キ[ラ]レン
可能打消	一人では着られない	[ヒ.トリデニヤ キ[ラ]レン
可能過去	まだ着られた	[マダ キ[ラ]レタ
可能過去	一人で着られた	[ヒ.トリデ キ[ラ]レタ
可能打消過去	一人では着られなかった	[ヒ.トリデニヤ キ[ラ]レン ジャッタ/ダッタ
可能推量	一人で着られるだろう	[ヒ.トリデ キ[ラ]ルルッド モン
可能推量	一人で着られるだろう	[ヒ.トリデ キ[ラ]ルルッドダー
可能推量	一人で着られるだろう	[ヒ.トリデ [キ]ー [キ]ッド モン/[キ]ッドダー
可能推量	一人で着られるだろう	[ヒ.トリデ [キ]ー [ユ]ッド モン/[ユ]ッドダー
可能様態	一人で着られるようだ	[ヒ.トリデ キ[ラ]ルル ゴタル
可能様態	一人で着られるようだ	[ヒ.トリデ [キ]ー [キ]ル ゴタル
可能様態	一人で着られるようだ	[ヒ.トリデ [キ]ー [ユ]ル ゴタル
可能様態	一人で着られそうだ	[ヒ.トリデ [キ]ー [キ]リソーニ アル
可能様態	一人で着られそうだ	[ヒ.トリデ [キ]ー [キ]リソーナ モン
可能様態	一人で着られそうだ	[ヒ.トリデ [キ]ー [エ]ソーニ アル
可能様態過去	一人で着られるようだった	[ヒ.トリデ キ[ラ]ルル ゴタッタ
可能様態過去	一人で着られるようだった	[ヒ.トリデ [キ]ー [キ]ル ゴタッタ

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
可能様態過去	一人で着られるようだった	[ヒ.トリデ [キ]ー [ユル] ゴタツタ
可能伝聞	一人で着られるそうだ	[ヒ.トリデ [キ]ー [キツト] チュータ
可能伝聞	一人で着られるそうだ	[ヒ.トリデ [キ]ー [ユツト] チュータ
可能心配	一人で着られるかなあ	[ヒ.トリデ キ[ラ]ルツド カ [ナ]ー
可能心配	一人で着られるかなあ	[ヒ.トリデ [キ]ー [キツド] カ [ナ]ー
可能心配	一人で着られるかなあ	[ヒ.トリデ [キ]ー [ユツド] カ [ナ]ー
可能打消	一人では着られない	[ヒ.トリデニヤ キ[ラ]レン
可能打消	一人では着られない	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [キラン
可能打消	一人では着られない	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [エン
可能打消推量	一人では着られないだろう	[ヒ.トリデニヤ キ[ラ]レンドダー
可能打消推量	一人では着られないだろう	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [キランドダー
可能打消推量	一人では着られないだろう	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [エンドダー
可能打消様態	一人では着られないようだ	[ヒ.トリデニヤ キ[ラ]レン ゴタル
可能打消様態	一人では着られないようだ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [キラン] ゴタル
可能打消様態	一人では着られないようだ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [エン] ゴタル
可能打消様態過去	一人では着られないようだった	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [キラン] ゴタツタ
可能打消様態過去	一人では着られないようだった	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [エン] ゴタツタ
可能打消伝聞	一人では着られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ キ[ラ]レント チュータ
可能打消伝聞	一人では着られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [キラント] チュータ
可能打消伝聞	一人では着られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [エント] チュータ
可能打消伝聞	一人では着られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ーワ [エント] チュータ
可能打消伝聞	一人では着られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [キランソーナ] モン
可能打消伝聞	一人では着られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [エンソーナ] モン
可能打消伝聞	一人では着られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [エントソーナ] モン
可能打消伝聞	一人では着られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [キラントソーナ] モン
可能打消心配	一人では着られないかなあ	[ヒ.トリデニヤ キ[ラ]レンド カ ニヤー
可能打消心配	一人では着られないかなあ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [キランド [カ] ニヤー
可能打消心配	一人では着られないかなあ	[ヒ.トリデニヤ [キ]ー [エンド [カ] ニヤー
	来る (B)	
断定	来る	[クル
尊敬断定	来られる	[コラス
断定過去	来た	[キタ
尊敬断定過去	来られた	[コラシタ
尊敬断定過去	来られた	[キナシタ
打消	来ない	[コン
尊敬打消	来られない	[コラッサン
打消過去	来なかった	[コン] ジャツタ／ダツタ
尊敬打消過去	来られなかった	[キナハラン] ジャツタ／ダツタ
使役	来させる	[コサスル
使役	来させる	[コラスル
使役過去	来させた	[コラセタ
使役受身	来させられる	[コラセラルル
使役受身過去	来させられた	[コラセラレタ
使役受身打消	来させられない	[コラセラレン

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
使役受身打消過去	来させられなかった	[コラセラレン] ジャッタ/ダッタ
動作継続	今, 来ている	[イマ [キーヨル/[キヨル
動作継続過去	あの時ちょうど来ていた	[アン]トキ [チョー]ド [キヨッタ
結果継続	うちに来ている	ウ[チ]ニ [キ. ト]ル
結果継続過去	うちに来ていた	ウ[チ]ニ [キ. トツ]タ
結果継続打消	うちには来ていない	ウ[チ]ニワ [キ. ト[ラ]ン
尊敬結果継続打消	うちには来られていない	ウ[チ]ニワ [キ. ト[ラ]ッサン
結果継続打消過去	うちには来ていなかった	ウ[チ]ニワ [キ. ト[ラ]ン ジャッタ/ダッタ
尊敬結果継続打消過去	うちには来られていなかった	ウ[チ]ニワ [キ. ト[ラ]ッサン ジャッタ/ダッタ
推量	来るだろう	[クッド ダー
推量	来るだろう	[クッド] モン
推量	来るだろう	[クッダー
推定	来るかもしれない	[クルカモ シレ]ン
尊敬推定	来られるかもしれない	[コラスカモ シレ]ン
様態	来るようだ	[クル] ゴタル
様態	来るようだ	[クルソーニ] アル
様態	来そうだ	[キ.ソーニ] アル
様態	来そうだ	[キ.ソーナ] モン
様態過去	来そうだった	[キ.ソー] ジャッタ/ダッタ
伝聞	来るそうだ	[クット] チュータ
丁寧	来ます	[キマス
丁寧	来ます	[キヤス(主語:自分, へりくだった言い方)
尊敬丁寧	来られます	[コラレヤス(目上へ)
丁寧過去	来ました	[キマシタ
丁寧過去	来ました	[キヤシタ
丁寧打消	来ません	[キマッセン
丁寧打消	来ません	[キヤッセン
丁寧打消過去	来ませんでした	[キマッセン] デシタ
丁寧打消過去	来ませんでした	[キヤッセン] デシタ
接続条件	来ても, いない	[キ.タツ] チャ オ[ラ]ン
接続逆接	せっかく来たけれども	[セッカク [キ.タバッテ
接続逆接	せっかく来たけれども	[セッカク [キタバッテン
接続テ形	来て, すぐ帰った	[キ.テ ス]グ [カエッタ/[モドッタ
当為	早く来なければいけない	[ハヨ [コンバ デケン/ツマラン
命令	来い	[ケ
尊敬命令	いらしゃい	[キナッセ
命令	来てみる	[キ.テ] ミロ
依頼	来てくれ	[キ.テ ク]レ
依頼	来てくれ	[キ.テ] クッ[ド]ー
依頼	来てくれ	[キ.テ] クッド [ナ]ー
勧誘	いっしょに来よう	[イッショニ [クーダ
勧誘	いっしょに来よう	[イッショニ [クー] ワイ
勧誘	いっしょに来よう	[イッショニ [キマッショ]イ
尊敬	来られる	[キナス
尊敬過去	来られた	[キナシタ

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
尊敬打消	来られない	[キナッセン]
尊敬打消過去	来られなかった	[キナッセン] ジャッタ
疑問詞疑問	いつ来るか?	[イツ [クル] キャー(下降)(目下へ)
疑問詞疑問	いつ来るか?	[イツ [クル] ケー(下降)(目下へ)
疑問詞疑問	いつ来るか?	[イツ [クル] ヤー(下降)(目下へ)
疑問詞疑問	いつ来ますか?	[イツ [コラス] カー(下降)(目上へ)
疑問詞疑問	いつ来ますか?	[イツ [キナス] カー(下降)(目上へ)
疑問詞疑問	いつ来ますか?	[イツ [コラスカ] ナー(下降)(目上へ)
疑問詞疑問	いつ来ますか?	[イツ [コラスカ] ナン(下降)(目上へ)
尊敬疑問詞疑問	いついらっしゃいますか?	[イツ [オイヅル] カー(目上へ)
尊敬疑問詞推量	いつ来られるだろうか?	[イツ [コラスト] カー(目上へ)
尊敬疑問詞推量	いつ来られるだろうか?	[イツ [キナスッド] カー(目上へ)
尊敬疑問詞疑問	いつ来られるのか?	[イツ [コラスト] ジャイロ(目上へ)
真偽疑問	おまえも来るか?	[オマエモ [クル] ヤー(目下へ)
真偽疑問	おまえも来るか?	[オマエモ [クル] キャー(目下へ)
真偽疑問	来ますか?	[クル] ネー(目上へ)
尊敬真偽疑問	来られますか?	[キナス] カー(目上へ)
尊敬真偽疑問	来られますか?	[キナス] カ ナー(親, 伯父等へ)
真偽疑問	おまえも来るのか?	[オマエモ [クット] カー(目下へ)
真偽疑問	おまえも来るのか?	[オマエモ [クット] キャー(目下へ)
真偽疑問	おまえも来るのか?	[オマエモ [クット] ケー(目下へ)
真偽疑問	おまえも来るのか?	[オマエモ [クット] ヤー(目下へ)
可能	一人で来られる	[ヒ,トリデ [コラルル]
可能	天気が良いれば来られる	[テン]キガ [ヨカレバ [コラルル]
可能	一人で来られる	[ヒ,トリデ [キー キル]
可能	一人で来られる	[ヒ,トリデ [キー ユル]
可能過去	一人で来られた	[ヒ,トリデ [コラレタ]
可能過去	天気が良いので来られた	[テン]キガ [ヨカ] ケン/[ヨカ] デ [コラレタ]
可能過去	天気が良いれば来られたのに	[テン]キガ [ヨカレバ [コラレタトニ]
可能過去	一人で来られた	[ヒ,トリデ [キー キッタ]
可能過去	一人で来られた	[ヒ,トリデ [キー エタ]
可能過去	天気が良いれば来られたのに	[テン]キガ [ヨカレバ [キー エタ トニ]
可能打消	一人では来られない	[ヒ,トリデワ [コラレン]
可能打消	天気が悪いので来られない	[テン]キガ [ワルカ] ケン/[ワルカ] デ [コラレン]
可能打消	一人では来られない	[ヒ,トリデワ [キー キラン]
可能打消	一人では来られない	[ヒ,トリデワ [キー エン]
可能打消	一人では来られない	[ヒ,トリデニヤ [キー ナラン]
可能打消過去	一人では来られなかった	[ヒ,トリデニヤ [コラレン] ジャッタ/ダッタ]
可能打消過去	天気が悪いので来られなかった	[テン]キガ [ワルカ] ケン/[ワルカ] デ [コラレン] ジャッタ/ダッタ]
可能打消過去	一人では来られなかった	[ヒ,トリデニヤ [キーキラン] ジャッタ/ダッタ]
可能打消過去	一人では来られなかった	[ヒ,トリデニヤ [キーエン] ジャッタ/ダッタ]
可能推量	一人で来られるだろう	[ヒ,トリデ [コラルッド]
可能推量	一人で来られるだろう	[ヒ,トリデ [キー キッド]
可能推量	一人で来られるだろう	[ヒ,トリデ [キー ユッド]

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
可能様態	一人で来られるようだ	[ヒ.トリデ [コラルル] ゴタル
可能様態	一人で来られるようだ	[ヒ.トリデ [キー キル] ゴタル
可能様態	一人で来られるようだ	[ヒ.トリデ [キー ユル] ゴタル
可能様態過去	一人で来られるようだった	[ヒ.トリデ [コラルル] ゴタッタ
可能様態過去	一人で来られるようだった	[ヒ.トリデ [キー キル] ゴタッタ
可能様態過去	一人で来られるようだった	[ヒ.トリデ [キー ユル] ゴタッタ
可能伝聞	一人で来られるそうだ	[ヒ.トリデ [キー キット] チュータ
可能伝聞	一人で来られるそうだ	[ヒ.トリデ [キー ユット] チュータ
可能心配	一人で来られるかなあ	[ヒ.トリデ [キー キッド] カ [ナ]ー
可能心配	一人で来られるかなあ	[ヒ.トリデ [キー ユッド] カ [ナ]ー
可能打消推量	一人では来られないだろう	[ヒ.トリデニヤ [キー キランドダ
可能打消推量心配	一人では来られないだろうなあ	[ヒ.トリデニヤ [キー キランド [ナ]ー
可能打消推量	一人では来られないだろう	[ヒ.トリデニヤ [キー エンドダ
可能打消推量心配	一人では来られないだろうなあ	[ヒ.トリデニヤ [キー エンド [ナ]ー
可能打消推量	一人では来られないだろう	[ヒ.トリデニヤ [キー ナランドダ
可能打消推量心配	一人では来られないだろうなあ	[ヒ.トリデニヤ [キー ナランド [ナ]ー
可能打消様態	一人では来られないようだ	[ヒ.トリデニヤ [キー キラン] ゴタル
可能打消様態	一人では来られないようだ	[ヒ.トリデニヤ [キー エン] ゴタル
可能打消様態	一人では来られないようだ	[ヒ.トリデニヤ [キー ナラン] ゴタル
可能打消様態過去	一人では来られないようだった	[ヒ.トリデニヤ [キー キラン] ゴタッタ
可能打消様態過去	一人では来られないようだった	[ヒ.トリデニヤ [キー エン] ゴタッタ
可能打消様態過去	一人では来られないようだった	[ヒ.トリデニヤ [キー ナラン] ゴタッタ
可能打消伝聞	一人では来られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [キー キラント] チュータ
可能打消伝聞	一人では来られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [キー エント] チュータ
可能打消伝聞	一人では来られないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [キー ナラント] チュータ
可能打消心配	一人では来られないのだなあ	[ヒ.トリデニヤ [キー キランド] バイ [ナ]ー
可能打消心配	一人では来られないのだなあ	[ヒ.トリデニヤ [キー エンド] バイ [ナ]ー
可能打消心配	一人では来られないのだなあ	[ヒ.トリデニヤ [キー ナランド] バイ [ナ]ー
	開ける (A)	
断定	戸を開ける	[ト]バ ア[ク]ル
断定過去	戸を開けた	[ト]バ ア[ケ]タ
打消	戸を開けない	[ト]バ ア[ケ]ン
打消過去	戸を開けなかった	[ト]バ ア[ケ]ン ジャッタ/ダッタ
使役	戸を開けさせる	[ト]バ ア[ケ]サスル
使役過去	戸を開けさせた	[ト]バ ア[ケ]サセタ
使役受身	戸を開けさせられる	[ト]バ ア[ケ]サセラルル
使役受身過去	戸を開けさせられた	[ト]バ ア[ケ]サセラレタ
使役受身打消	戸を開けさせられない	[ト]バ ア[ケ]サセラレン
使役受身打消過去	戸を開けさせられなかった	[ト]バ ア[ケ]サセラレン ジャッタ/ダッタ
動作継続	戸を開けている	[ト]バ ア[ケ]ヨル
動作継続過去	戸を開けていた	[ト]バ ア[ケ]ヨッタ
結果継続	戸を開けている	[ト]バ [ア]ケ トル
結果継続過去	戸を開けていた	[ト]バ [ア]ケ トッタ

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
結果継続打消	戸を開けていない	[ト]バ [ア]ケ ト[ラ]ン
結果継続打消過去	戸を開けていなかった	[ト]バ [ア]ケ ト[ラ]ン ジャッタ/ダッタ
推量	戸を開けるだろう	[ト]バ ア[ク]ッド/ア[ク]ッドダー
推量	戸を開けるだろう	[ト]バ ア[ク]ッド モン
推定	戸を開けるかもしれない	[ト]バ ア[ク]ルカモ シ[レ]ン
様態	戸を開けるようだ	[ト]バ ア[ク]ル ゴタル
様態	戸を開けるようだ	[ト]バ ア[ク]ルソーニ アル
様態	戸を開けそうだ	[ト]バ ア[ケ]ソーニ アル
様態過去	戸を開けるようだった	[ト]バ ア[ク]ル ゴタッタ
様態過去	戸を開けるようだった	[ト]バ ア[ク]ルソーニ アッタ
様態過去	戸を開けそうだった	[ト]バ ア[ケ]ソーニ アッタ
伝聞	戸を開けるそうだ	[ト]バ ア[ク]ット チュータ
伝聞	戸を開けるそうだ	[ト]バ ア[ク]ルソー[ナ] モン
丁寧	戸を開けます	[ト]バ ア[ケ]マス
丁寧	戸を開けます	[ト]バ ア[ケ]ヤス(稀)
丁寧過去	戸を開けました	[ト]バ ア[ケ]マシタ
丁寧過去	戸を開けました	[ト]バ ア[ケ]ヤシタ
丁寧打消	戸を開けません	[ト]バ ア[ケ]マッセン
丁寧打消	戸を開けません	[ト]バ ア[ケ]ヤッセン
丁寧打消過去	戸を開けませんでした	[ト]バ ア[ケ]マッセン デシタ
丁寧打消過去	戸を開けませんでした	[ト]バ ア[ケ]ヤッセン デシタ
接続条件	戸を開けても	[ト]バ ア[ケ]テモ/ア[ケ]テン
接続条件	戸を開けても	[ト]バ ア[ケ]タッ チャ
接続逆性	戸を開けたけれども	[ト]バ ア[ケ]タバッテン/ア[ケ]タバッテター/ ア[ケ]タバッテカ
接続テ形	戸を開けて、外に出た	[ト]バ ア[ケ]テ [ソ]テー デタ
当為	戸を開けなければいけない	[ト]バ ア[ケ]ンバ [ツ]マラン/[ナ]ラン
命令	戸を開けろ	[ト]バ ア[ケ]ロ
命令	戸を開けなさい	[ト]バ ア[ケ]ナッセー
依頼	戸を開けてくれ	[ト]バ ア[ケ]ッ クレ
依頼	戸を開けてくれ	[ト]バ ア[ケ]ッ ク[レ]ロ
依頼	戸を開けてください	[ト]バ ア[ケ]ッ クダッセー
勧誘	戸を開けよう	[ト]バ ア[キユ]ーダー
尊敬	戸を開けなさる	[ト]バ ア[ケ]ラス
尊敬	戸を開けなさる	[ト]バ ア[ケ]ナス
尊敬過去	戸を開けなさった	[ト]バ ア[ケ]ナシタ
尊敬打消	戸を開けなさらない	[ト]バ ア[ケ]ラッサン
尊敬打消	戸を開けなさらない	[ト]バ ア[ケ]ナッセン
尊敬打消過去	戸を開けなさらなかった	[ト]バ ア[ケ]ラッサン ジャッタ/ダッタ
尊敬打消過去	戸を開けなさらなかった	[ト]バ ア[ケ]ナッセン ジャッタ/ダッタ
疑問詞疑問	いつ戸を開けるか?	[イ]ツ [ト]バ ア[ク]ル カー
疑問詞疑問	いつ戸を開けるのか?	[イ]ツ [ト]バ ア[ク]ット カー(目下へ)
疑問詞疑問	いつ戸を開けるのか?	[イ]ツ [ト]バ ア[ク]ット ヤー(目下へ)
疑問詞疑問	いつ戸を開けるのですか?	[イ]ツ [ト]バ ア[ク]ット ナー(目上へ)
疑問詞疑問	いつ戸を開けるのですか?	[イ]ツ [ト]バ ア[ク]ット ネー(目上へ)
真偽疑問	おまえは戸を開けるか?	[オ]マエワ [ト]バ ア[ク]ル カー(目下へ)

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
真偽疑問	おまえは戸を開けるか?	[オマエワ [ト]バ ア[ク]ル キャー(目下へ)
真偽疑問	おまえは戸を開けるか?	[オマエワ [ト]バ ア[ク]ル ヤー(目下へ)
真偽疑問	戸を開けますか?	[ト]バ ア[ク]ル ナー(目上へ)
真偽疑問	戸を開けますか?	[ト]バ ア[ク]ル ネー(目上へ)
真偽疑問	開けるのか?	ア[ク]ット カー(目下へ)
真偽疑問	開けるのか?	ア[ク]ット ヤー(目下へ)
真偽疑問	開けるのですか?	ア[ク]ット ナー(目上へ)
真偽疑問	開けるのですか?	ア[ク]ット ネー(目上へ)
可能	一人で戸が開けられる	[ヒ,トリデ [ト]バ ア[ケ]ラルル
可能	天気がいいので戸が開けられる	[テン]キガ [ヨカ] ケン/[ヨカ] デ [ト]バ ア[ケ]ラルル
可能	一人で戸が開けられる	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [キル
可能	一人で戸が開けられる	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [ユル
可能過去	天気がいいので戸が開けられた	[テン]キガ [ヨカ] ケン/[ヨカ] デ [ト]バ ア[ケ]ラレタ
可能過去	一人で戸が開けられた	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [キッタ
可能過去	一人で戸が開けられた	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [エタ
可能打消	一人では戸が開けられない	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ ア[ケ]ラレン
可能打消	天気が悪いので戸が開けられない	[テン]キガ [ワルカ] ケン/[ワルカ] デ [ト]バ ア[ケ]ラレン
可能打消過去	一人で戸が開けられなかった	[ヒ,トリデ [ト]バ ア[ケ]ラレン ジャッタ/ ダッタ
可能打消過去	天気が悪いので戸が開けられなかった	[テン]キガ [ワルカ] ケン [ト]バ ア[ケ]ラ レン ジャッタ/ダッタ
可能打消過去	一人で戸が開けられなかった	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [キラン] ジャッタ /ダッタ
可能打消過去	一人で戸が開けられなかった	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [エン] ジャッタ/ ダッタ
可能打消過去	一人で戸が開けられなかった	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [ナラン] ジャッタ /ダッタ
可能推量	一人で戸が開けられるだろう	[ヒ,トリデ [ト]バ ア[ケ]ラルル[ド] モン
可能推量	一人で戸が開けられるだろう	[ヒ,トリデ [ト]バ ア[ケ]ラルル[ド]ダー
可能推量	一人で戸が開けられるだろう	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [キッド
可能推量	一人で戸が開けられるだろう	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [ユッド
可能様態	一人で戸が開けられるようだ	[ヒ,トリデ [ト]バ ア[ケ]ラルル [ゴタル
可能様態	一人で戸が開けられるようだ	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [キル] ゴタル
可能様態	一人で戸が開けられるようだ	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [ユル] ゴタル
可能様態	一人で戸が開けられそう	[ヒ,トリデ [ト]バ ア[ケ]ラレソー[ナ] モン
可能様態	一人で戸が開けられそう	[ヒ,トリデ [ト]バ ア[ケ]ラレソー[ニ] アル
可能様態	一人で戸が開けられそう	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [キリソーナ] モン
可能様態	一人で戸が開けられそう	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [キリソーニ] アル
可能様態過去	一人で戸が開けられるようだった	[ヒ,トリデ [ト]バ ア[ケ]ラルル [ゴタッタ
可能様態過去	一人で戸が開けられるようだった	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [キル] ゴタッタ
可能様態過去	一人で戸が開けられるようだった	[ヒ,トリデ [ト]バ [ア]ケ [ユル] ゴタッタ
可能様態過去	一人で戸が開けられそうだった	[ヒ,トリデ [ト]バ ア[ケ]ラレソー[ニ] アッタ
可能心配	一人で戸が開けられるかなあ	[ヒ,トリデ [ト]バ ア[ケ]ラルル[ド] カ [ナ]ー

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
可能心配	一人で戸が開けられるかなあ	[ヒ.トリデ [ト]バ [ア]ケ [キッド] カ [ナ]ー
可能心配	一人で戸が開けられるかなあ	[ヒ.トリデ [ト]バ [ア]ケ [ユッド] カ [ナ]ー
可能打消推量	一人では戸が開けられないだろう	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ ア[ケ]ラレン[ド
可能打消推量	一人では戸が開けられないだろう	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ ア[ケ]ラレン[ドダー
可能打消推量	一人では戸が開けられないだろう	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ ア[ケ]ラレン[ド] モン
可能打消推量	一人では戸が開けられないだろう	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ ア[ケ]ラレン ジャロ
可能打消様態	一人では戸が開けられないようだ	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ ア[ケ]ラレン ゴタル
可能打消様態過去	一人では戸が開けられないよう だった	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ ア[ケ]ラレン ゴタッタ
可能打消伝聞	一人では戸が開けられないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ ア[ケ]ラレン[ト] チュータ
可能打消伝聞	一人では戸が開けられないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ ア[ケ]ラレントソー[ニ] アル
可能打消心配	一人では戸が開けられないかなあ	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ ア[ケ]ラレンド カ [ナ]ー
	閉める (B)	
断定	戸を閉める	[ト]バ [シムル
断定過去	戸を閉めた	[ト]バ [シメタ
打消	戸を閉めない	[ト]バ [シメン
打消過去	戸を閉めなかった	[ト]バ [シメン] ジャッタ/ダッタ
使役	戸を閉めさせる	[ト]バ [シメサスル
使役過去	戸を閉めさせた	[ト]バ [シメサセタ
使役受身	戸を閉めさせられる	[ト]バ [シメサセラルル
使役受身過去	戸を閉めさせられた	[ト]バ [シメサセラレタ
使役受身打消	戸を閉めさせられない	[ト]バ [シメサセラレン
使役受身打消過去	戸を閉めさせられなかった	[ト]バ [シメサセラレン] ジャッタ/ダッタ
動作継続	戸を閉めている	[ト]バ [シメヨル
動作継続過去	戸を閉めていた	[ト]バ [シメヨッタ
結果継続	戸を閉めている	[ト]バ [シメ] トル
結果継続過去	戸を閉めていた	[ト]バ [シメ] トッタ
結果継続打消	戸を閉めていない	[ト]バ [シメ ト[ラン]
結果継続打消過去	戸を閉めていなかった	[ト]バ [シメ ト[ラン] ジャッタ/ダッタ
推量	戸を閉めるだろう	[ト]バ [シムッド/[シムッドダー
推量	戸を閉めるだろう	[ト]バ [シムッド] モン
推定	戸を閉めるかもしれない	[ト]バ [シムルカモ シレン]
様態	戸を閉めるようだ	[ト]バ [シムル] ゴタル
様態	戸を閉めるようだ	[ト]バ [シムルソーニ] アル
様態	戸を閉めそうだ	[ト]バ [シメソーニ] アル
様態過去	戸を閉めるようだった	[ト]バ [シムル] ゴタッタ
様態過去	戸を閉めるようだった	[ト]バ [シムルソーニ] アッタ
様態過去	戸を閉めそうだった	[ト]バ [シメソーニ] アッタ
伝聞	戸を閉めるそうだ	[ト]バ [シムット] チュータ
伝聞	戸を閉めるそうだ	[ト]バ [シムルソーナ] モン
丁寧	戸を閉めます	[ト]バ [シメマス

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
丁寧	戸を閉めます	[ト]バ [シメヤス]
丁寧過去	戸を閉めました	[ト]バ [シメマシタ]
丁寧過去	戸を閉めました	[ト]バ [シメヤシタ]
丁寧打消	戸を閉めません	[ト]バ [シメマッセン]
丁寧打消	戸を閉めません	[ト]バ [シメヤッセン]
丁寧打消過去	戸を閉めませんでした	[ト]バ [シメマッセン] デシタ
丁寧打消過去	戸を閉めませんでした	[ト]バ [シメヤッセン] デシタ
接続条件	戸を開けても、寒い	[ト]バ [シメタツ] チャ [サンカ]
接続逆接	戸を開めたけれども、寒い	[ト]バ [シメタバッテン] / [シメタバッテ / [シメタバッテカ [サンカ]
接続逆接	戸を開めたけれども、寒い	[ト]バ [シメテン [サンカ]
接続テ形	戸を閉めて、風をさける	[ト]バ [シメテ] カ[ゼ]バ サ[ク]ル
当為	戸を閉めなければいけない	[ト]バ [シメンバ [イ]カン / [イ]ケン]
命令	戸を閉めろ	[ト]バ [シメロ]
命令	戸を閉めろ	[ト]バ [シメン] カ(目下へ)
命令	戸を閉めろ	[ト]バ [シメン] ヤー(目下へ)
命令	戸を閉めなさい	[ト]バ [シメン] ナー(目上へ)
命令	戸を閉めなさい	[ト]バ [シメン] ネー(目上へ)
依頼	戸を閉めてくれ	[ト]バ [シメテ ク]レ
依頼	戸を閉めてくれ	[ト]バ [シメチ ク]レ
依頼	戸を閉めてみる	[ト]バ [シメン] ミロ
勧誘	いっしょに戸を閉めよう	[イ]ツ [シ]ョニ [ト]バ [シ]ミューダー
尊敬	戸を閉めなさる	[ト]バ [シメナハル]
尊敬	戸を閉めなさる	[ト]バ [シメラス]
尊敬	戸を閉めなさる	[ト]バ [シメナス]
尊敬過去	戸を閉めなさった	[ト]バ [シメナシタ]
尊敬過去	戸を閉めなさった	[ト]バ [シメラシタ]
尊敬打消	戸を閉めなさらない	[ト]バ [シメラッサン]
尊敬打消過去	戸を閉めなさらなかった	[ト]バ [シメラッサン] ジャッタ / ダッタ
尊敬打消過去	戸を閉めなさらなかった	[ト]バ [シメナハラン] ジャッタ / ダッタ
疑問詞疑問	いつ戸を閉めるか?	[イ]ツ [ト]バ [シ]ムル カー / ヤー / ナー / ネー
疑問詞疑問	いつ戸を閉めるのか?	[イ]ツ [ト]バ [シ]ムット カー / ヤー / ナー / ネー
真偽疑問	おまえは戸を閉めるか?	[オ]マエワ [ト]バ [シ]ムル カー / ヤー / ナー / ネー
真偽疑問	おまえは戸を閉めるのか?	[オ]マエワ [ト]バ [シ]ムット カー / ヤー / ナー / ネー
可能	一人で戸が閉められる	[ヒ, ト]リデ [ト]ガ [シ]メラルル
可能	戸の滑りがいいので簡単に閉められる	[ト]ノ [ス]ベリガ ヨカ [ケン] [カン]タンニ [シ]メラルル
可能	一人で戸が閉められる	[ヒ, ト]リデ [ト]バ [シ]メ キル
可能	一人で戸が閉められる	[ヒ, ト]リデ [ト]バ [シ]メ ユル
可能過去	一人で戸が閉められた	[ヒ, ト]リデ [ト]バ [シ]メラレタ
可能過去	戸の滑りがいいので簡単に閉められた	[ト]ノ [ス]ベリガ ヨカ [ケン] [カン]タンニ [シ]メラレタ
可能過去	一人で戸が閉められた	[ヒ, ト]リデ [ト]バ [シ]メ キッタ
可能過去	一人で戸が閉められた	[ヒ, ト]リデ [ト]バ [シ]メ エタ

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
可能打消	一人では戸が閉められない	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメラレン]
可能打消	戸が固くて閉められない	[ト]ガ カ[ト]-シテ [シメラレン]
可能打消	一人では戸が閉められない	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメ キラン]
可能打消	一人では戸が閉められない	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメ エン]
可能打消	一人では戸が閉められない	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメ ナラン]
可能打消過去	一人では戸が閉められなかった	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメラレン] ジャッタ/ダッタ
可能打消過去	戸が固くて閉められなかった	[ト]ガ カ[ト]-シテ [シメラレン] ジャッタ/ダッタ
可能打消過去	一人では戸が閉められなかった	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメナラン] ジャッタ/ダッタ
可能推量	一人で戸が閉められるだろう	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメラルッドダー]
可能推量	一人で戸が閉められるだろう	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメラルッド] モン]
可能推量	一人で戸が閉められるだろう	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ キッド]
可能推量	一人で戸が閉められるだろう	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ ユッド]
可能様態	一人で戸が閉められるようだ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメラルル] ゴタル]
可能様態	一人で戸が閉められるようだ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ キル] ゴタル]
可能様態	一人で戸が閉められるようだ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ ユル] ゴタル]
可能様態	一人で戸が閉められそうだ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメラレソーニ] アル]
可能様態	一人で戸が閉められそうだ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ キリソーニ] アル]
可能様態過去	一人で戸が閉められるようだった	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメラルル] ゴタッタ]
可能様態過去	一人で戸が閉められそうだった	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメラレソーニ] アッタ]
可能様態過去	一人で戸が閉められそうだった	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ キリソーニ] アッタ]
可能様態過去	一人で戸が閉められるようだった	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ キルソーニ] アッタ]
可能様態過去	一人で戸が閉められそうだった	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ エソーニ] アッタ]
可能伝聞	一人で戸が閉められるそうだ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメラルット] チュータ]
可能伝聞	一人で戸が閉められるそうだ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ キット] チュータ]
可能伝聞	一人で戸が閉められるそうだ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ ユット] チュータ]
可能心配	一人で戸が閉められるかなあ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメラルッド] カ [ナ]-
可能心配	一人で戸が閉められるかなあ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ キッド] カ [ナ]-
可能心配	一人で戸が閉められるかなあ	[ヒ,トリデ [ト]バ [シメ ユッド] カ [ナ]-
可能打消推量	一人では戸が閉められないだろう	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメラレンドダー]
可能打消推量	一人では戸が閉められないだろう	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメ キランドダー]
可能打消推量	一人では戸が閉められないだろう	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメ エンドダー]
可能打消様態	一人では戸が閉められないようだ	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメラレン] ゴタル]
可能打消様態	一人では戸が閉められないようだ	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメ キラン] ゴタル]
可能打消様態	一人では戸が閉められないようだ	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメ エン] ゴタル]
可能打消様態	一人では戸が閉められないようだ	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメラレンソーニ] アル]
可能打消様態過去	一人では戸が閉められないようだった	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメ キラン] ゴタッタ]
可能打消様態過去	一人では戸が閉められないようだった	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメラレンソーニ] アッタ]
可能打消様態過去	一人では戸が閉められないようだった	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメ キランソーニ] アッタ]
可能打消伝聞	一人では戸が閉められないそうだ	[ヒ,トリデニヤ [ト]バ [シメラレント] チュータ]

カテゴリー	共通語	天草市本渡方言
可能打消伝聞	一人では戸が閉められないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ [シメ キラント] チュータ
可能打消伝聞	一人では戸が閉められないそうだ	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ [シメ エント] チュータ
可能打消心配	一人では戸が閉められないかなあ	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ [シメラレンド] カ [ナ]ー/[ニヤ]ー
可能打消心配	一人では戸が閉められないかなあ	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ [シメ キラント] カ [ニヤ]ー
可能打消心配	一人では戸が閉められないかなあ	[ヒ.トリデニヤ [ト]バ [シメ エンド] カ [ニヤ]ー